



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月1日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社  
コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉井 敏磨  
問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 西川 伸起  
四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

TEL 03-3283-5041  
平成30年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	328,376	8.4	28,950	△4.4	46,532	10.8	37,919	7.0
30年3月期第2四半期	302,943	13.1	30,267	57.1	42,008	70.3	35,453	90.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 41,195百万円 (1.3%) 30年3月期第2四半期 40,680百万円 (762.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	177.51	—
30年3月期第2四半期	164.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	801,677		552,025			62.4
30年3月期	785,687		519,144			59.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 500,179百万円 30年3月期 467,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	24.00	—	35.00	59.00
31年3月期	—	35.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	3.8	48,000	△23.5	79,000	△2.1	62,000	2.4	290.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	231,739,199 株	30年3月期	231,739,199 株
31年3月期2Q	18,097,622 株	30年3月期	18,135,027 株
31年3月期2Q	213,619,751 株	30年3月期2Q	215,814,659 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の詳細は、P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成30年11月5日(月)に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催同日にTDnetにて開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	12
3. その他	14
平成31年3月期第2四半期決算概要	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題の動向や原油価格の上昇、金融資本市場が与える影響が懸念され、先行きへの不透明感が高まりました。国内経済は、原油高や人手不足による生産・物流コストの上昇がありましたが、雇用・所得環境の改善が継続するなど、緩やかな回復の動きを見せました。

当社グループを取り巻く経営環境は、全般的に需要が堅調で、メタノール市況も高止まりで推移した一方で、原燃料価格の上昇や、これまで高い水準を維持してきたポリカーボネート、高純度イソフタル酸の市況が下落基調に転じるなどの変化もみられました。

このような経営環境において、当社グループは、グループビジョン「社会と分かち合える価値の創造」のもと、当期より新たにスタートした中期経営計画「MGC Advance2020」の基本方針に基づき、基本施策「中核事業を中心とした既存事業の収益力強化」、「新規事業の創出と育成」「最適な事業ポートフォリオに向けた投資戦略の実行」等を進め、企業価値の向上に努めてまいりました。

当社グループの売上高は、メタノールの市況が依然として高い水準を維持したことや、販売数量が全体として堅調に推移したことなどから、増収となりました。

営業利益は、ポリカーボネートの市況が前年同期を上回ったほか、特殊ポリカーボネートやBT材料の販売数量も増加しましたが、発泡プラスチック事業における原燃料価格の上昇や高純度イソフタル酸の市況下落などにより、減益となりました。

経常利益は、海外メタノール生産会社およびエンジニアリングプラスチック関連会社に係る持分法利益が増加したことなどにより、増益となりました。

以上の結果、売上高3,283億円(前年同期比254億円増(8.4%増))、営業利益289億円(前年同期比13億円減(4.4%減))、持分法利益172億円(前年同期比67億円増(64.5%増))、経常利益465億円(前年同期比45億円増(10.8%増))、親会社株主に帰属する四半期純利益379億円(前年同期比24億円増(7.0%増))となりました。

### 事業セグメント別の業績

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。そのため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を当該変更後の数値で比較しております。

#### [天然ガス系化学品事業]

メタノールは、市況が前年同期に比べ大幅に上昇したことなどから、増収増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、全般的な販売数量の増加に加え、MMA系製品の市況上昇などもあり増収となりましたが、原料価格が上昇したことなどから、前年同期並みの損益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油価格が上昇したものの、原油販売数量が減少したことなどから、前年同期並みの損益となりました。

以上の結果、売上高881億円(前年同期比128億円増(17.1%増))、営業利益32億円(前年同期比14億円増(79.6%増))となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を126億円計上した結果、経常利益は157億円(前年同期比74億円増(89.9%増))となりました。

#### [芳香族化学品事業]

特殊芳香族化学品は、原燃料価格の上昇があったものの、メタキシレンジアミンや芳香族アルデヒドの販売が堅調に推移したことなどから、増収増益となりました。

汎用芳香族化学品は、原燃料高による採算悪化に加え、高純度イソフタル酸の市況下落もあり、減益となりました。

発泡プラスチック事業は、原燃料価格の上昇などにより減益となりました。

以上の結果、売上高1,071億円(前年同期比24億円増(2.4%増))、営業利益101億円(前年同期比37億円減(27.2%減))、経常利益97億円(前年同期比37億円減(27.8%減))となりました。

## 〔機能化学品事業〕

無機化学品は、販売数量の増加により売上高は増加したものの、半導体・液晶向け薬液の競争環境の激化などにより、減益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量の減少やポリアセタールの原料価格上昇があったものの、スマートフォンのカメラレンズ向け等に使用される特殊ポリカーボネートの販売数量の増加やポリカーボネートの市況が前年同期を上回ったこともあり、増収増益となりました。

以上の結果、売上高1,055億円（前年同期比80億円増（8.2%増））、営業利益141億円（前年同期比7億円増（5.6%増））となりました。また、エンジニアリングプラスチック関連会社を中心とする持分法利益を41億円計上した結果、経常利益は178億円（前年同期比6億円増（3.8%増））となりました。

## 〔特殊機能材事業〕

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料の販売数量がメモリー向けなどを中心に堅調に推移し、増収増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、国内食品市場における競争や海外顧客の在庫調整の影響等により、減益となりました。

以上の結果、売上高271億円（前年同期比19億円増（7.7%増））、営業利益25億円（前年同期比4億円増（23.7%増））となりました。また、持分法利益を4億円計上した結果、経常利益は30億円（前年同期比0億円増（2.8%増））となりました。

## 〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は3億円（前年同期比1億円増（53.3%増））、営業利益は0億円（前年同期比0億円減（8.7%減））、経常利益は0億円（前年同期比0億円減（28.5%減））となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて159億円増加の8,016億円となりました。

流動資産は、27億円減少の3,814億円となりました。減少の要因は、現金及び預金の減少などです。

固定資産は、187億円増加の4,201億円となりました。増加の要因は、投資有価証券の増加などです。

負債は、前連結会計年度末に比べて168億円減少の2,496億円となりました。流動負債は、短期借入金が減少したことなどにより184億円減少しました。固定負債は、引当金が増加したことなどにより16億円増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて328億円増加の5,520億円となりました。増加の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことなどです。

この結果、自己資本比率は62.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## (第2四半期個別業績予想と実績値との差異)

平成31年3月期第2四半期累計の個別業績について、決算数値が確定した結果、平成30年5月9日に公表した業績予想との差異が生じました。これは、修繕費の一部が下期へずれ込むことや研究開発費が当初の見込みを下回ったことに加え、持分法適用関連会社からの受取配当金の一部が上期に前倒しで計上されたことなどによります。

## 個別業績

平成31年3月期 第2四半期累計期間 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	185,000	13,000	20,000	17,000	79 59
実績 (B)	193,135	16,766	27,217	22,788	106 67
増減額 (B - A)	8,135	3,766	7,217	5,788	—
増減率 (%)	4.4	29.0	36.1	34.0	—
(参考) 前年同期実績 (平成30年3月期第2四半 期累計)	170,390	15,218	29,161	28,180	130 58

(通期業績予想の修正)

平成31年3月期の連結業績予想については、原燃料高やポリカーボネート市況の下落などにより営業利益は前回予想を下回る見通しです。一方、持分法利益を見直した結果、高水準で推移しているメタノール市況の影響等により経常利益は前回予想を上回る見通しです。業績予想の算定にあたりましては、未経過月の為替レートを1米ドル110円、1ユーロ130円(ともに前回予想と同じ)としております。

なお、本日の決算発表と同時に「持分法適用会社(日本・サウジアラビアメタノール株式会社)の合弁事業の期限について」を公表しておりますが、公表事実が連結業績に与える影響は現時点で未定であり、本業績予想作成にあたって同事実は加味しておりません。今後業績予想の修正が必要になった場合には、速やかにお知らせいたします。

連結業績予想の修正

平成31年3月期 通期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	640,000	53,000	75,000	61,000	285 57
今回発表予想(B)	660,000	48,000	79,000	62,000	290 22
増減額(B-A)	20,000	△5,000	4,000	1,000	—
増減率(%)	3.1	△9.4	5.3	1.6	—
(参考)前期実績 (平成30年3月期通期)	635,909	62,741	80,711	60,531	281 39

個別業績予想の修正

平成31年3月期 通期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	370,000	25,000	47,000	44,000	205 99
今回発表予想(B)	390,000	25,000	49,000	44,000	205 96
増減額(B-A)	20,000	—	2,000	—	—
増減率(%)	5.4	—	4.3	—	—
(参考)前期実績 (平成30年3月期通期)	364,433	31,287	54,149	41,386	192 39

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,090	88,905
受取手形及び売掛金	165,606	166,367
有価証券	121	135
商品及び製品	57,958	64,223
仕掛品	11,044	12,642
原材料及び貯蔵品	34,750	35,496
その他	14,847	14,866
貸倒引当金	△1,170	△1,145
流動資産合計	384,249	381,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,823	80,240
機械装置及び運搬具(純額)	81,359	78,477
その他(純額)	58,535	65,517
有形固定資産合計	220,717	224,235
無形固定資産		
のれん	3,911	3,993
その他	4,499	5,097
無形固定資産合計	8,411	9,091
投資その他の資産		
投資有価証券	161,391	176,103
その他	11,471	11,301
貸倒引当金	△555	△545
投資その他の資産合計	172,308	186,859
固定資産合計	401,437	420,187
資産合計	785,687	801,677



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,720	86,351
短期借入金	71,155	57,352
未払法人税等	4,133	3,576
引当金	5,643	5,533
資産除去債務	1,522	1,550
その他	35,660	33,974
流動負債合計	206,835	188,340
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,328	24,942
引当金	3,549	4,075
退職給付に係る負債	4,592	4,272
資産除去債務	2,420	2,431
その他	13,815	15,589
固定負債合計	59,707	61,311
負債合計	266,543	249,651
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,578	34,649
利益剰余金	399,033	429,476
自己株式	△19,966	△19,927
株主資本合計	455,616	486,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,261	16,918
繰延ヘッジ損益	△0	△11
土地再評価差額金	222	222
為替換算調整勘定	△7,614	△4,696
退職給付に係る調整累計額	1,878	1,577
その他の包括利益累計額合計	11,747	14,010
非支配株主持分	51,780	51,845
純資産合計	519,144	552,025
負債純資産合計	785,687	801,677

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	302,943	328,376
売上原価	227,300	252,451
売上総利益	75,643	75,925
販売費及び一般管理費	45,375	46,974
営業利益	30,267	28,950
営業外収益		
受取利息	201	286
受取配当金	1,425	1,509
持分法による投資利益	10,499	17,270
その他	2,348	1,711
営業外収益合計	14,475	20,777
営業外費用		
支払利息	527	545
出向者労務費差額負担	751	897
賃貸費用	551	791
その他	903	961
営業外費用合計	2,734	3,195
経常利益	42,008	46,532
特別利益		
投資有価証券売却益	893	859
固定資産売却益	—	714
特別利益合計	893	1,573
特別損失		
債務保証損失引当金繰入額	—	631
投資有価証券評価損	356	374
固定資産処分損	154	—
特別損失合計	511	1,005
税金等調整前四半期純利益	42,391	47,101
法人税等	4,154	7,129
四半期純利益	38,237	39,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,783	2,052
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,453	37,919

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	38,237	39,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552	△322
繰延ヘッジ損益	△3	△12
為替換算調整勘定	1,388	△1,324
退職給付に係る調整額	△72	△284
持分法適用会社に対する持分相当額	577	3,168
その他の包括利益合計	2,443	1,224
四半期包括利益	40,680	41,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,669	40,182
非支配株主に係る四半期包括利益	3,011	1,012

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	42,391	47,101
減価償却費	13,157	13,542
固定資産処分損益(△は益)	526	△347
のれん償却額	138	131
持分法による投資損益(△は益)	△10,499	△17,270
受取保険金	△0	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	129	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	177	△250
受取利息及び受取配当金	△1,627	△1,795
支払利息	527	545
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△1,047	△865
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	379	422
売上債権の増減額(△は増加)	△20,261	△2,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,414	△8,545
仕入債務の増減額(△は減少)	14,175	△2,053
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,747	△74
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△77	△49
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	631
その他	△1,435	△2,789
小計	32,985	26,145
利息及び配当金の受取額	1,608	1,776
持分法適用会社からの配当金の受取額	10,990	7,188
利息の支払額	△503	△517
法人税等の支払額	△3,161	△3,577
保険金の受取額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,919	31,016

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△17,110	△19,054
固定資産の売却による収入	165	828
投資有価証券の取得による支出	△978	△2,582
投資有価証券の売却による収入	2,389	198
貸付けによる支出	△388	△38
貸付金の回収による収入	287	247
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	939
その他	△1,090	225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,725	△19,235
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,596	△6,097
長期借入れによる収入	4,110	3,950
長期借入金の返済による支出	△8,435	△12,930
自己株式の取得による支出	△5	△3
配当金の支払額	△4,747	△7,476
非支配株主への配当金の支払額	△951	△930
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,481	—
その他	△49	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,157	△23,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,065	△10,998
現金及び現金同等物の期首残高	67,177	90,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,242	79,306

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## I. 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	75,285	104,659	97,557	25,239	202	—	302,943
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,652	407	423	19	81	△4,584	—
計	78,937	105,066	97,981	25,258	284	△4,584	302,943
セグメント利益 (経常利益)	8,274	13,515	17,210	2,945	91	△29	42,008

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△29百万円は、セグメント間取引消去120百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△150百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	88,180	107,146	105,557	27,181	310	—	328,376
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,376	176	608	3	53	△5,217	—
計	92,556	107,322	106,166	27,184	363	△5,217	328,376
セグメント利益 (経常利益)	15,713	9,757	17,872	3,027	65	96	46,532

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額96百万円は、セグメント間取引消去55百万円及び各報告セグメントに配分していない  
全社費用40百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

## 3. その他

## 平成31年3月期第2四半期 決算概要

## ①連結経営成績

(単位:億円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減額		平成30年3月期 通期実績	平成31年3月期 通期予想
			増減額	増減率		
売上高	3,029	3,283	254	8.4%	6,359	6,600
天然ガス系化学品事業	789	925	136	17.3%	1,747	1,900
芳香族化学品事業	1,050	1,073	22	2.1%	2,131	2,152
機能化学品事業	979	1,061	81	8.4%	2,050	2,134
特殊機能材事業	252	271	19	7.6%	527	522
その他の事業及び調整額	△ 43	△ 48	△ 5	—	△ 98	△ 109
営業利益	302	289	△ 13	△ 4.4%	627	480
天然ガス系化学品事業	18	32	14	79.6%	54	48
芳香族化学品事業	139	101	△ 37	△ 27.2%	256	173
機能化学品事業	134	141	7	5.6%	296	240
特殊機能材事業	20	25	4	23.7%	42	45
その他の事業及び調整額	△ 9	△ 11	△ 2	—	△ 22	△ 27
営業外損益	117	175	58	49.7%	179	310
経常利益	420	465	45	10.8%	807	790
天然ガス系化学品事業	82	157	74	89.9%	142	284
芳香族化学品事業	135	97	△ 37	△ 27.8%	245	164
機能化学品事業	172	178	6	3.8%	379	294
特殊機能材事業	29	30	0	2.8%	55	56
その他の事業及び調整額	0	1	0	—	△ 16	△ 9
特別損益	3	5	1	48.5%	△ 72	10
税金等調整前四半期(当期)純利益	423	471	47	11.1%	734	800
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	354	379	24	7.0%	605	620
1株当たり四半期(当期)純利益	164.28円	177.51円	13.23円		281.39円	290.22円

※ 平成31年3月期第2四半期 連結範囲 連結子会社 70社 持分法適用会社 16社

## 営業外損益項目

持分法による投資損益	104	172	67	182	320
金融収支	11	12	1	15	
為替差損益	7	△ 0	△ 7	1	△ 10
その他	△ 5	△ 8	△ 2	△ 20	
営業外損益合計	117	175	58	179	310

## 特別損益項目

投資有価証券売却益	8	8	△ 0	19	
固定資産売却益	—	7	7	5	
特別利益その他	—	—	—	4	
債務保証損失引当金繰入額	—	△ 6	△ 6	△ 10	
投資有価証券評価損	△ 3	△ 3	△ 0	△ 82	
特別損失その他	△ 1	—	1	△ 7	
特別損益合計	3	5	1	△ 72	10



## ②連結財政状態

(単位:億円)

	平成30年3月期末	平成31年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	3,842	3,814	△ 27
有形・無形固定資産	2,291	2,333	41
投資その他の資産	1,723	1,868	145
資産合計	7,856	8,016	159
有利子負債	1,069	927	△ 142
その他負債	1,595	1,569	△ 26
負債合計	2,665	2,496	△ 168
株主資本	4,556	4,861	305
その他の包括利益累計額	117	140	22
非支配株主持分	517	518	0
純資産合計	5,191	5,520	328
負債純資産合計	7,856	8,016	159

## ③連結キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	419	310	△ 109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 167	△ 192	△ 25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 211	△ 235	△ 23
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	7	7
現金及び現金同等物の増減額	40	△ 109	△ 150
現金及び現金同等物の期首残高	671	903	231
現金及び現金同等物の期末残高	712	793	80

## ④各種指標推移(連結)

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 実績	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 予想
設備投資額(億円)	222	305	350	309	450
(うち第2四半期累計)	103	149	137	139	186
減価償却費(億円)	237	267	256	270	270
(うち第2四半期累計)	115	131	122	131	135
研究開発費(億円)	168	189	192	189	200
(うち第2四半期累計)	80	92	96	95	91
期末人員数(人)	8,254	8,176	8,034	8,009	8,172
ROA(総資産経常利益率)	5.8%	5.9%	8.4%	10.6%	9.8%
ROE(自己資本利益率)	12.6%	9.0%	12.0%	13.6%	12.7%
1株当たり配当金	14.0円	16.0円	38.0円	59.0円	70.0円
(うち第2四半期末)	7.0円	8.0円	8.0円	24.0円	35.0円

## ⑤為替・市況前提

	平成27年3月期		平成28年3月期		平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期	
	実績		実績		実績		実績		実績	予想
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
平均為替レート(JPY/US\$)	103	117	122	118	105	112	111	111	110	110
平均為替レート(JPY/EUR)	139	139	135	130	118	119	126	133	130	130
原油価格 (Dubai) (US\$/BBL)	104	63	56	36	43	51	50	62	73	80
メタノール (US\$/MT) ※1 (アジアスポット平均価格)	432	358	301	230	230	327	296	381	408	390
原料キシレン (US\$/MT)	1,100	730	740	630	660	680	650	725	845	910
ビスフェノールA ※2 (US\$/MT)	1,600 ~2,000	1,200 ~1,900	950 ~1,500	850 ~1,100	1,000 ~1,200	1,000 ~1,400	1,100 ~1,300	1,200 ~1,700	1,600 ~1,900	1,500 ~1,800
ポリカーボネート ※2 (US\$/MT)	2,500 ~2,700	2,300 ~2,700	2,100 ~2,650	2,000 ~2,400	2,200 ~2,500	2,400 ~2,800	2,500 ~2,900	2,900 ~3,900	2,700 ~3,800	2,200 ~2,800

※1 平成27年3月期は、上期:1-6月、下期:7-12月の価格を表記しております。

※2 期間中の最小値および最大値を表記しております。